

◇—————◇
公益社団法人 日本航空機操縦士協会
メールマガジン Vol.67 2020/7/15
◇—————◇

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。
今号は以下の内容でお送りいたします。

★—INDEX—★

- [1] 【常務理事コラム】 日頃の感謝について
- [2] 【法人賛助会員紹介】 朝日航洋株式会社
- [3] 【CARATS】 これまでの取り組みにより実現した施策について
- [4] 【安全情報】 RJOY-Information Vol.5_2020.7 八尾空港 ATC 今昔物語
- [5] 【航空局】 7月4日に熊本県で発生した大雨に伴う航空交通情報の提供について
- [6] 【お知らせ】 協会事務局の勤務体制について
- [7] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

- ★—————
- [1] 【常務理事コラム】 日頃の感謝について
常務理事 板垣 英樹

★—————

平素より、協会活動へのご理解、ご協力、誠にありがとうございます。
また、この度の令和2年7月豪雨災害で、甚大な被害を被られた皆様に於かれましては、1日も早い復興を心よりお祈りすると共に、災害支援活動へご参加されているパイロットの皆様のご無事を祈念申し上げます。
我々の仲間である、報道、消防、自衛隊の操縦士の皆様の使命感、責任感には、改めまして尊敬の念を強くする思いであります。
どうか、ご無事でその重要なミッションを果たされますよう、陰ながら応援申し上げます。

我々協会は、プレジャー目的の自家用パイロットの皆様から、エアラインや冒頭で触れさせていただいた、各事業所、官公庁で働くパイロットの方々まで、日本の空で働くほとんど全ての業界のパイロットの方々にご所属頂いております。自分とは違う業界のパイロットの方々とお話しする機会が持てる

ことも、この協会活動の大きな魅力であると思っております。

私自身はエアラインに所属しておりますが、災害支援の現場の厳しい運航環境のお話を伺うにつれ、それぞれの現場に違った厳しさややりがい、パイロットという仕事の奥深さ、社会的な意義を改めて実感する日々です。

あらゆる業界のパイロットの、日本における運航環境の向上を、事業会社の枠組みを超えて目指していけるよう、協会としても尽力してまいりますので、今後とも、協会活動へのご参加、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

★—————

[2]【法人賛助会員紹介】朝日航洋株式会社

★—————

1955年7月に創業した朝日航洋株式会社は、「安全」を経営基盤とし、ヘリコプター77機とビジネスジェット3機によるドクターヘリ、防災ヘリ、航空撮影、報道取材、物資輸送、旅客輸送などの運航及び整備事業を通じてお客様と社会への貢献を果たすことを使命としています。

ドクターヘリ事業は厚生労働省の試行事業から携わり、最近では救急自動通報システム「D-Call Net」の実証実験に参加するなど、新たな取り組みに積極的に参画しています。

ビジネスジェット事業では県営名古屋空港に国内最大級の専用格納庫を構え、国内外へのチャーター運航を実施。

ビジネス航空業界の安全認証「IS-BAO（ステージ3）」を取得しています。

次世代を担う航空従事者育成にも力を入れ、2013年から「認定操縦訓練生制度」を開始。

また、2015年には模擬飛行訓練装置（Frasca社製FTD H125型）を導入し、航空局の認定（レベル5）を取得。

これまで多くの自治体・事業会社に所属する操縦士の技量維持及び実機ではできない非常操作訓練に活用することでヘリ業界全体の「空の安全」に繋がっています。

そして2020年4月、当社は企業理念として「空にさきがけ 未来をつくる」を制定しました。

人と社会を豊かにすることへの志は、黒部第4ダムや富士山気象レーダードーム建設など、不可能と言われた数々のミッションを成し遂げてきた経験から蓄積され、今もなお全社員が熱い思いを持ち続けています。

私たちは過去におごらず、未来に向かって日々進化し挑戦を続けることで、今後も安全・安心・豊かな社会づくりに貢献していくことを宣言します。

★—————

[3] **【CARATS】** これまでの取り組みにより実現した施策について

国土交通省航空局交通管制部交通管制企画課 **CARATS** 事務局

★—————

CARATS とは、航空交通量の増大や運航者、利用者のニーズの多様化に対応し、我が国の経済成長に寄与するとともに、地球温暖化対策等の世界共通の課題にも対応するため、2010年に策定された「将来の航空交通システムに関する長期ビジョン」です。

CARATS に基づき、将来の航空交通システムへの変革を具体的に実現していくため、産官学が連携してロードマップの策定や施策の推進を行っています。

※**CARATS**・・・Collaborative Actions for Renovation of Air Traffic Systems

今回は、これまで約10年にわたる**CARATS**の取り組み推進により実現した新しい施策について一部をご紹介します。

<**RNP-AR** 進入の導入による運航効率化の実現>

RNP-AR:Required Navigation Performance Autorization Required は、世界的に導入が進められている性能準拠型航法(**PBN:Performance Based Navigation**)に分類される進入方式の一つであり、衛星航法により地上の施設に依存せず曲線経路をふくむ柔軟な経路設定が可能となる高性能な方式です。

我が国では2011年より順次導入・拡大を進め、2019年末の時点で全国31空港に導入されています。

RNP-AR 進入の導入により、最低気象条件改善による就航率の向上や経路長短縮による消費燃料、排出ガスの削減が実現しています。

<**WAM** 導入による同時平行離着陸の実現>

広域マルチラテレーション(**WAM:Wide Area Multilateration**)の導入により、高精度かつ高頻度の航空機位置情報把握が必要となる精密滑走路監視(**PRM:**

Precision Runway Monitoring)を実現しています。このシステムは 2015 年 3 月より成田空港において運用を開始しており、低視程時においても発着容量の低下を抑えた運用（同時平行離陸）を実現してしています。今後は航空路にも順次導入される予定です。

<ポイントマージシステム(PMS:Point Merge System)導入による効率的な交通流量制御の実現>

増大する交通量や過密化する交通流を効率的に処理するため、ターミナル空域の広域化に合わせ、中心のマージポイントに向けて扇形の飛行経路を設定し、リアルタイムで交通流量を制御する方式です。2019 年度に首都圏空域の再編に伴い、羽田空港と成田空港への到着経路に設定されました。

詳しくは CARATS ホームページをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/koku/koku_fr13_000006.html

★—————

[4] 【安全情報】 RJOY-Information Vol.5_2020.7 八尾空港 ATC 今昔物語

★—————

RJOY-Information Vol.5_2020.7 八尾空港 ATC 今昔物語が更新されました。以下よりご覧いただけます。

<https://www.japa.or.jp/5044>

★—————

[5] 【航空局】 7 月 4 日に熊本県で発生した大雨に伴う航空交通情報の提供について

★—————

航空局より 7 月 4 日に熊本県で発生した大雨に伴い、周辺空域で活動する航空機等の安全な運航を確保するため、以下のとおり陸上自衛隊により航空交通情報の提供が実施されますのでお知らせいたします。詳細は以下ホームページをご参照ください。

(アイチ・アドバイザー)

<https://www.japa.or.jp/5288>

(クマムラ・アドバイザー)

<https://www.japa.or.jp/5293>

★—————

[6] 【お知らせ】 協会事務局の勤務体制について

★—————

協会事務局では首都圏での新型コロナウイルスへの感染リスクを考慮し、勤務体制を以下の通りといたします。

期 間：7月15日（水）～7月31日（金）迄

出勤日：月曜日～金曜日（祝日、7/27を除く）

時 間：10：00～16：00

以上、皆様にはご不便をお掛け致しますが、何卒ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

★—————

[7] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★—————

JAPAでは会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPANの配布の他、団体割引を適用した、JAPA団体保険（ロスオブライセンス）へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページより、ご覧ください。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member.japa.or.jp/member>

* * * * *

★次回の配信は8月初旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法
については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール japa@japa.or.jp

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>
